

本当の教えに出会うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

無碍の一道 第27号

発行:2013年8月26日
発行者:浄土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺
〒739-0147 副住職 天野英昭
東広島市八本松西6丁目10番1号
☎・FAX 082-428-0160・082-428-1360

秋季彼岸法座

日時 9月14日(土) 9:00~15:00頃
朝席 9:00~11:30 昼席 13:00~15:00
ご講師 長岡 正信師(呉市 西岸寺ご住職)



第24回歎異抄輪読会

日時 8月29日(木) 19:00~20:30頃
ご講師 松田正典先生(広島大学名誉教授)

費用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です。
歎異抄第1章「たすけられまいらせて」をご講義いただいております。

お知らせ

★第13回コーラス練習

9月9日(月) 9:30~11:00

新しい曲に挑戦します。

曲目は①「みほとけのほほえみに」(仏教讃歌)

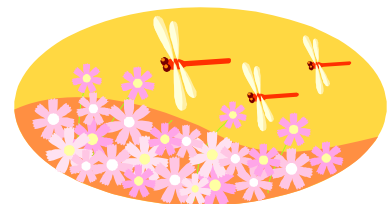
②「いのちの歌」(NHK 朝の連続テレビドラマ「だんだん」の挿入歌)

③「ふるさとは今も変わらず」(作詞:作曲 新沼謙治)

皆様のご参加をお待ちしております。

★天龍寺仏教壮年会 月例会

未定 関係者の方には日時が決まりましたらご連絡させていただきます。



広島別院清掃のお礼

7月29日に、昨年同様天龍寺仏教婦人会・天龍寺仏教壮年会のみなさまと私も含め約20名の方と共にマイクロバスで広島別院に行って清掃をさせていただき、その後に広島プリンスホテルにて昼食をいただきました。縁あってこうして清掃・食事等をさせていただき、多くの事を共有させていただきました。ありがとうございました。

また来年もみなさまと一緒に広島別院清掃、昼食等のご縁をいただければ幸いです。



天龍寺本堂の床板張り替えが完成をしました。

昨年の庫裡のリフォームに続き、今年は天龍寺仏教壮年会のみなさまにより本堂の床板張り替えをしていただきました。本当にありがたい気持ちでいっぱいです。昨年庫裡のリフォームをしていただいていた折、桜の木の下で昼食をみなさまと共に頂いていた時にある方が「来年は本堂の床板の張り替えをしよう」と言ってくださいました。私は心の中で、その事が実現できれば素晴らしいことだと思いましたが、なかなか実現する事は難しいのではないかと考えたことがありました。

しかし、この度その事が実現しました。約1ヶ月の期間をかけて猛暑の中、本堂の床板の張り替えをしてくださいました。天龍寺仏教壮年会のみなさまと一緒に苦楽を共有できたことにもありがたいことだと思っております。歳のせいか記憶力が落ちておりますが、頭で覚えたことではなく、体でみなさまと共有した経験は、生涯忘れる事がないと思います。教員時代も生徒と苦楽を共有しあったことは、今でも私にとしまして大きな思い出となっております。この度の本堂床張り替えの経験も大きな思い出となしました。

最後に天龍寺仏教壮年会の兵庫様・中島様・玉田様・細川様・松田様・福田様並びに日伸建材の柏原様には多大なご尽力・ご協力等をいただきましたこと書面をお借りしましてお礼を申し上げます。



天龍寺墓苑合同参拝のお礼

先月8月12日（月）に行われました磯松天龍寺墓苑合同参拝に際しまして、猛暑の中にも関わりませず、多数のご出席を賜り誠にありがとうございました。天龍寺墓苑合同参拝も平成2年開始から20年以上が経過しております。この期間多くのおみなさまのご縁をいただきました。微力ではありますが、当山なりに努めてまいりたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。また、来年も多くの方とのご縁をいただければ幸いです。

磯松天龍寺墓苑合同墓建立完成のお知らせ

寺報の第25号でお知らせしておりました磯松天龍寺墓苑合同墓が完成をしました。建立にあたりまして、温かいご意見に限らず、厳しいご意見も多々いただきました。言われました事は、当然のことだと、私なりに粛々と受け止めさせていただきました。様々なご意見を賜りながら、天龍寺なりに門信徒のみなさまと共に、天龍寺の護持発展のために、微力ではありますが努めてまいりたいと思っております。何卒今後とも、この度の様な諫言等を賜ります事お願い申し上げます。